

1 2 供給処理施設

(1) 施設の概要

本市の供給処理施設は5施設あり、新湊地区に1施設、小杉地区に4施設立地しています。

平成 27 年 4 月 1 日現在

施設分類	施設数	施設名	所有状況	管理形態	代表建築年度	経過年数	耐震補強	総延床面積 (㎡)	代表建築物構造
供給処理施設	5施設	1 クリーンピア射水	市有		H14	13	不要	9,221.24	S
		2 ミライクル館	市有	市直営	S55	35	不要	3,598.97	S
		3 野手埋立処分所	市有	長期包括	H21	6	不要	873.16	S
		4 衛生センター	市有	市直営	S62	28	不要	3,698.00	RC
		5 クリーンピア射水温泉施設	市有	長期包括	H14	13	不要	210.62	S
		合計						17,601.99	

構造凡例 S：鉄骨造,RC：鉄筋コンクリート造,SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、W：木造

(2) 施設の現状と個別の基本的な考え方

1) 供給処理施設

施設の現状

供給処理施設	
建物状況	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンピア射水は、全連続燃焼式流動床炉 3 炉、プラズマ溶融炉 1 炉を有した施設で、平成 15 年に稼働を開始しました。 ・ミライクル館のプラザ棟は、各種研修・講演・会議などに利用できる研修室、リサイクル体験のできる体験工房室、パソコンによる環境学習コーナー等があり、処理棟は、金属缶や紙製容器包装、ペットボトル、プラ製容器包装などの精選や圧縮・梱包・保管ができる施設になっています。 ・野手埋立処分所は、平成 19 年から 21 年の 3 カ年で抜本的再整備工事を実施し、現行の耐震基準を満たした貯留構造物の補強、埋立地の拡幅整備、逆浸透膜 (RO) 処理による浸出水処理設備、降雨量を調整するための調整槽 (4,000 t) の新設など施設を拡充しています。 ・衛生センターは、昭和 62 年 9 月に処理能力 1 日 116KL のし尿処理施設として、更新されましたが、老朽化が進んでいます。
コスト状況	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理・運営について、運転管理から薬品・燃料等の調達や設備の補修まで包括的に複数年継続契約することで、民間事業者の創意工夫の余地を広げ、専門性やノウハウを生かした効率的で安定した運營業務の遂行ができる委託形式である長期包括運營業務委託を、クリーンピア射水は平成 20 年度から、野手埋立処分所は平成 26 年度から導入しています。

基本的な考え方

供給処理施設	
将来のあるべき姿	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市域を超えた広域化や民間活力の導入など運営のあり方を含めた検討が行われ、その検討結果に基づいて運営されており、快適な市民生活を維持しています。 	
個別の基本的な考え方	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民生活に直結した施設ですが、将来人口の減少による処理量の減少を踏まえ、長期的には市域を超えた広域化や民間活力の導入など運営のあり方を含め検討します。 ・ 存続施設は、施設の劣化や不具合の早期発見に努め、「予防保全型」による対策を実施するとともに、ライフサイクルコストの縮減を図りながら、施設の長寿命化を図ります。 	

施設分類名	現在保有面積 (H27.4.1 現在)	削減想定面積 (40 年間)
供給処理施設	17,601 m ²	400 m ² (2%程度)